

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

詩①

あしたこそ たんぽぽ はるか

ひかりを おでこに

くつつけて

はなひらく ひを

ゆめにみて

たんぽぽわたげが

まいあがります

とんでいこう どこまでも

あした

たくさんの「こんにちは」に

であうために

詩②

おれはかまきり かまきり りゆうじ

おう なつだぜ

おれは げんきだぜ

あまり ちかよるな

おれの こころも かまも

どきどきするほど

ひかってるぜ

おう あついぜ

おれは がんばるぜ

もえる ひをあびて

かまを ふりかざす すがた

わくわくするほど

きまつてるぜ

問一 詩①と詩②の季節は、いつ頃ですか。漢字一字で答えなさい。

問二 詩①の「ひかりをおでこにくつつけて」という表現から、何をしている様子が想像できますか。

問三 詩①の第二連で使用されている表現技法を、次の選択肢から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 対句

2 反復

3 直喩

4 倒置

問四 詩②について、この詩は一日のいつをよんだ詩ですか。次の選択肢から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 早朝

2 夜中

3 昼間

4 夕方

問五 詩②について、かまきりのどんな様子がうたわれていますか。次の選択肢から最も適切なものを一つ選び、記号で答えなさい。

1 くじけそうな自分を必死に励ましている様子

2 他の生き物をこわがらせようとしている様子

3 生命力や気力がみなぎって張り切っている様子

4 自分がいちばん強いと思いがっている様子

□ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

初めてシンタに会ったときは驚いた。中学校の入学式、そこに「僕がいる。」と思った。

身長も同じくらい、くせ毛の生え方も似ているし、二重の目のはばも、鼻筋の長さも。同じ制服を着ているから、なおさら僕にそっくりだった。①僕たちはすぐに仲よくなった。まるで磁石

が引き合うみたいに。

話をしてみると、好きなものも嫌いなものも同じだった。好きな食べ物（つゆがたつぷりの^aギユウドン）、好きな飲み物（炭酸の強いソーダ）、姉ちゃんがいるのも同じだし、蛇口から直接水を飲むのが好きで、靴下はうっとうしい。体育が好きで、音楽が苦手。

誕生日は違ったし、名字も名前も違うけど（それでも、僕はシュンタだ、十分似ている。）、僕とシュンタはまるで双子だった。みんなは、僕たちのことをまとめて「シンシュン」とよんだ。そうよばれると僕たちは同時に振り返った。いつもいっしょだった。

シュンタと話していると、話したいことが**1**あふれてきた。シュンタもそう言ってくれた。「シュンタとなら、いくらでも話していられますよ。」

僕たちは自分自身と話しているようなものだった。笑うところも、^bオコるところも同じだった。

ある日、国語の授業で小説を読んだ。

短いお話で、全然明るくなくて、それどころか暗くて、悲しい話だったけど、僕はすごく好きだと思った。でも、どうして好きなのか全然説明できなかった。だから、シュンタに話そうと思った。僕が好きなんだから、シュンタも絶対に好きだろう。そしてシュンタなら、その理由を教えてくださいにちがいない。

休み時間、僕はいつものようにシュンタの席へ行った。待ち切れなかった。わくわくしながら小説の話を切りだすと、シュンタは顔をしかめた。

「あれ、嫌いだ。」

②頭をがつんと殴られたような気がした。

「暗くてさ。何が書きたいんだろう。」

僕は思わず、シュンタといっしょにうなずいた。

「そうだよな。僕も嫌い。」

その日は、ずっと苦しかった。

僕が好きなものを、シュンタが嫌いと言ったこ

とが悲しかった。「僕は好きだ。」と言えなかったことが悔しかった。でも、シュンタと違う自分は嫌だった。僕たちは好きなものや嫌いなものが同じだから「シンシュン」コンビなんだ。違うところがあれば、僕らはきつといっしょにいられなくなる。③それは嫌だった。絶対に嫌だった。

それから僕は、シュンタと話すときに迷うようになった。

休み時間も放課後も、相変わらずシュンタといっしょにいたけど、前みたいに話せなくなった。

僕はあたりまえのことばかりを話した。「雨が降っているね。」とか、「あしたは一時間目から体育だね。」とか。

シュンタもなんだかおかしかった。僕と同じように口数が少なくなつて、僕みたいにあたりまえのことしか話さなかった。とうとう僕らは黙ってしまった。黙ってしまったと後はただ気まずくて、だから僕たちはだんだん離れていった。

クラスのみんなは「シンシュン」コンビがいっしょにいないことを心配してくれた。でも、僕たちは自分たちに何があったのか、みんなに説明することができなかった。

ある日、クラスメイトが僕に、

「シュンタとけんかしたの。」

そうきいてきた。僕はそのときこう思った。ああ、けんかできたら楽だろうな。何もしていないのに、こんなふうになりたくない。僕は自分が情けなかった。そうだ、どうせなら、ちゃんとけんかしよう。勇気があることだったけど、こうやって気まずいよりはましだ。僕はシュンタに話しかけた。

「シュンタ。」

シュンタは僕を見た。ちよつと怖がっているみたいに見えた。

「僕、あの小説が好きなんだ。」

「え？」

「あの、国語の小説。」

覚えていないかもしれない。急にこんなことを言うのは変だ。でも、そこから話をするしかなかった。僕は必死だった。だから、

「覚えているよ。」

シンタがそう言うってくれたときは驚いた。それから、こう続けたときも。

「僕が嫌いって言ったとき、シュンタが傷ついたのもわかった。」

気づいていたんだ。アヤマろうとした僕より先に、シンタが「ごめん。」と言った。

「僕たち、あれからちよつとおかしいよな。ちよつとつていうより、だいぶ。」

「うん。なんか。」

「④つまらないことばかり話してさ。」

「本当にそうだね。」

シンタと僕が久しぶりに話をしているのを、クラスメイトたちが見ているのがわかった。

でも、僕は気にしなかった。

「僕、シンタと違うところを発見するのが怖かったんだ。」

シンタも、気にしていなかった。

「僕も！」

思ったより、大きな声が出たのだろう。シンタは照れくさそうに笑った。

「またシュンタを傷つけるのも怖かったしさ。」

シンタのその笑顔が、僕は好きだった。大好きだった。

「傷つかないよ。」

「え？」

「僕の好きなものをシンタが嫌いでも、僕は傷つかないよ。あ、ううん、傷つくかもしれないけど、でも、じゃあ、だからこそ話そうよ。どうしても好きなのか、どうして嫌いなのか。」

シンタはまっすぐ僕を見た。僕もシンタをまっすぐに見た。僕たちはそっくりだった。

「うん。話そう。」

そっくりだけど、全然違う人間なのだった。

「話そう。たくさん。」

僕たちはそれから、前にもましておしゃべりになった。

問一 二重傍線部 a、c の、カタカナを漢字に直しなさい。

問二 傍線部①について、僕とシンタが出会ったとたんに関係が良くなったこと様子を、どのようにたどっていますか。文章中から十三字で抜き出しなさい。

問三 ①に入る最も適切な言葉を、次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- 1 すやすや
- 2 うろうろ
- 3 もくもく
- 4 どんどん

問四 傍線部②のような気持ちになったのはなぜですか。次の選択肢から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- 1 予想外の答えにショックを受けたから。
- 2 クラスメイトが突然ぶつかってきたから。
- 3 自分と同じ感想で驚いてしまったから。
- 4 シンタがとても変なことを言ったから。

問五 傍線部③「それ」とは何のことですか。簡潔に答えなさい。

問六 傍線部④について、「僕たち」がつまらない話ばかりをしていたのはなぜですか。簡潔に答えなさい。

問七 それからの「僕」とシンタの関係を表している表現を文章中から十四字で抜き出しなさい。

③ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私たちは、毎日いろいろな種類の野菜を食べています。野菜は植物ですから、根や葉、茎、花、実などの器官からできています。例えば、キャベツやレタスなら葉の部分を食べていますし、トマトやナスなら実の部分を食べています。

それでは、私たちが普段食べているダイコンの白い部分は何の器官なのでしょう。漢字で「大根」と書くくらいですから、根のように思う

かもしれませんが、そんなに単純ではありません。

①その疑問に答えるために、ダイコンの芽であるカイワレダイコンを見ながら考えてみます。カイワレダイコンは、双葉と根、その間に伸びた胚軸とよばれる茎から成り立っています。根の部分には、種から長く伸びた主根と、主根から生えている細いひげのような側根があります。

これに対して、私たちが食べるダイコンをよく見てみると、下のほうに細かい側根が付いたり、側根の付いていた跡に穴が空いていたりののがわかります。ダイコンの下のほうは主根が太ってできているのです。いっぽう、ダイコンの上のほうを見ると、側根がなく、すべすべしています。この上の部分は、根ではなく胚軸が太ったものです。①、ダイコンの白い部分は、根と胚軸の二つの器官から成っているのです。

この二つの器官は、じつは味も違っています。なぜ、違っているのでしょうか。

胚軸の部分は水分が多く、甘みがあるのが特徴です。胚軸は、地下の根で吸収した水分を地上の葉などに送り、葉で作られた糖分などの養分を根に送る役割をしているからです。

いっぽう、根の部分は辛いのが特徴です。ダイコンは下にいくほど辛みが増していきます。ダイコンのいちばん上の部分と、いちばん下の部分を比較すると、下のほうが十倍も辛み成分が多いのです。ここには、植物の知恵ともいえる理由がかくされています。

根には、②葉で作られた栄養分が豊富に運ばれてきます。これは、いずれ花をさかせる時期に使う大切な栄養分なので、③土の中の虫に食べられては困ります。そこで、虫の害から身を守るため、辛み成分をたくわえているのです。ダイコンの辛み成分は、普段は細胞の中にありますが、虫にかじられて細胞が破壊されると、化学反応を起こして、辛みを発揮するような仕組みになっています。そのため、たくさん細胞が壊れる

ほど辛みが増すことになります。

④これらの特徴を活用して調理すると、ダイコンのさまざまな味を引き出すことができます。例えば、大根下ろしを作るときに、辛いのが好き人は下の部分が向いていますし、辛いのが苦手な人は上の部分を使うと辛みの少ない大根下ろしを作ることができます。また、ダイコンを力強く直線的に下ろすと、細胞が破壊されて、より辛みが増します。逆に、円をえがくようにやさしく下ろせば、破壊される細胞が少なくなり、辛みが抑えられるのです。

このように、ダイコンの白い部分は異なる器官から成っていて、器官の働きによって味も違うのです。普段何気なく食べているダイコンも、植物として観察してみると興味深い発見があります。他の野菜はどうでしょうか。いろいろ調べてみると、これまで気づかなかった野菜の新しい魅力が見えてくるかもしれません。

問一 傍線部①について、どのような疑問ですか。文中の言葉を使用して、書きなさい。

問二 1にあてはまる言葉として最も適切なものを、次の選択肢から選び、記号で答えなさい。

- 1 では
- 2 つまり
- 3 また
- 4 だが

問三 傍線部②について、「葉で作られた栄養分」はいつ使われますか。文章中から七字で抜き出さなさい。

問四 傍線部③のために、ダイコンの根はどのような仕組みになっていますか。次の文の空欄に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出しなさい。

根の細胞の中に（a四字）を蓄えており、細胞が破壊されると、（b四字）をおこして（c二字）を発揮する仕組み。

問五 傍線部④について、できるだけ辛い大根下ろしを作るには、どうすれば良いですか。次の選択肢から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- 1 上の部分を使って、直線的におろす
- 2 上の部分を使って、円を描くように下ろす
- 3 下の部分を使って、直線的におろす
- 4 下の部分を使って、円を描くように下ろす

問六 筆者は、野菜をいろいろ調べてみると、何が見えて来るかもしれないと述べていますか。文章中から八字で抜き出しなさい。

④ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。
自分ではAだと思っていたものが、人からBともいえると、シテキされ、なるほどそうもいえると教えられた経験は多いことだろう。

上の図は「ルビンのつぼ」と題されたものである。よく見ると、この図から①二種類の絵を見ることが出来るはずだ。白い部分を中心に見ると、優勝カップのような形をしたつぼがくつきりと浮かび上がる。このとき、黒い部分はバックにすぎない。今度は逆に、黒い部分に注目してみる。すると、向き合っている二人の顔の影絵が見えてきて、白い部分はバックになってしまう。この図の場合、つぼを中心に見ているときは、見えているはずの二人の顔が見えなくなり、二人の顔を中心に見ると、一瞬のうちに、目からつぼの絵が消え去ってしまう。

このようなことは、日常生活の中でもよく経験する。今、公園の池に架かっている橋の辺りに目を向けているとしよう。すると、橋の向こうから一人の少女がやって来る。目はその少女に引きつけられる。このとき、橋や池など周辺のもは全て、単なる背景になってしまう。カメラでいえば、あつという間に、ピントが少女に合わせられてしまうのである。ところが逆に、その橋の形が珍しく、それに注目しているときは、その上を通る人などは背景になってしまう。

見るといふ働きには、②思いがけない一面が

ある。一瞬のうちに、中心に見るものを決めたり、それを変えたりすることが出来るのである。

上の図の場合はどうであろうか。ちよつとすまして図のオクの方を向いた若い女性の絵と見る人もいれば、毛皮のコートに顎をうずめたおばあさんの絵と見る人もいるだろう。あるいは、他の絵と見る人もいるかもしれない。

だれでも、ひと目見て即座に、何かの絵と見ているはずだが、そうすると、③別の絵と見ることが難しい。若い女性の絵だと思った人には、おばあさんの絵は簡単には見えてこない。おばあさんの絵と見るためには、とりあえず、今見えている若い女性の絵を意識して捨て去らなければならない。

上の図を見てみよう。ゲショウウ台の前に座っている女性の絵が見えるであろう。ところがこの図も、もう一つの絵をかくしもっている。目を遠ざけてみよう。すると、たちまちのうちに、この図はどくろをえがいた絵に変わってしまう。同じ図でも、近くから見ると遠くから見ると、よって、全く違う絵として受け取られるのである。

このことは、なにも絵に限ったことではない。遠くから見れば秀麗な富士山も、近づくにつれて、岩石の露出した荒々しい姿に変わる。また、遠くから見ればきれいなビルも、近づいて見ると、ひび割れてすすけた壁面のビルだったりする。

私たちは、ひと目見たときの印象に縛られ、一面のみを捉えて、その物の全てを知ったように思いがちである。しかし、一つの図でも風景でも、見方によって見えてくるものが違う。そこで、④物を見る時には、ちよつと立ち止まって、他の見方を試してみよう。中心に見るものを変えたり、見るときの距離を変えたりすれば、その物の他の面に気づき、新しい発見の驚きや喜びを味わうことができるだろう。

問一 二重傍線部 a、c のカタカナを漢字に直さない。

問二 傍線部①について、「二種類の絵」とは、何と何ですか。文章中からそれぞれ十字以上十字以内で抜き出さない。

問三 傍線部②とは、どのような一面ですか。「・・・という一面」に続くように、文章中から三十五字で抜き出さない。

問四 傍線部③について、なぜ難しいのですか。次の選択肢から最も適切なものを選び、記号で答えなさい。

- 1 何かの絵が見えてくるまで、見つめ続ける必要があるから。
 - 2 ひと目見て、即座に何の絵か判断しなければならぬから。
 - 3 一瞬のうちに、中心に見るものを変えることができないから。
 - 4 一度見た絵を、意識して捨て去らなければならぬから。
- 問五 傍線部④とありますが、「他の見方」とは、どのようにすることですか。次の文の空欄に当てはまる言葉を、文章中からそれぞれ抜き出さない。
- 〔a 二字〕に見るものや、見るときの〔b 二字〕を要すること。

- 1 1 証拠をイントクする
- 1 2 人工カンミ料を使用する
- 1 3 密林のオクチを探検する
- 1 4 冷やアセをかく
- 1 5 それはキミヨウな話だ

〔五〕カタカナは漢字に直し、漢字は読みを答えなさい。

- 1 握手をして別れる
- 2 繊維を多く含む野菜
- 3 偉大な功績を残す
- 4 陸軍の精鋭を集める
- 5 親の縁故で世話になる
- 6 要点を簡条書きにする
- 7 皆勤賞でほめられる
- 8 獲物を取り逃した
- 9 大気は循環している
- 10 含蓄のある言葉